



第 32 号

R3.2.19

文責 倉迫

建学 145 年

笑顔いっぱい浪漫フェスタ

2月19日(金) 5・6校時、体育館で「笑顔いっぱい浪漫フェスタ」が開催されました。この企画は、5年生の実行委員が中心になって、本年度中止になった

「浪漫フェスタ」を校内で行い、6年生を招待することで卒業していく6年生にも楽しんでもらい、気持ちよく笑顔で送り出したいという思いから準備されました。5年生が1・2組合同で、そして5年生が在籍する「あおぞら学級」のみんなも協力してくれました。「浪漫フェスタ」に出店するような店が、体育館中に広がりました。

- ①初めの言葉
- ②お店紹介タイム
- ③お店お楽しみタイム
- ④6年生へ
- ⑤感想交流
- ⑦終わりの言葉

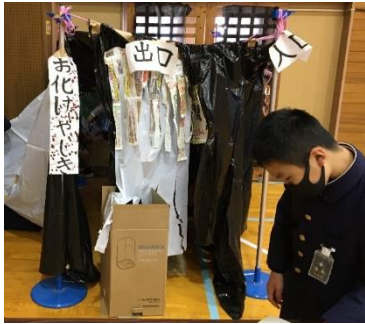
のプログラムに従い、いよいよフェスタの始まりです。招待された6年生はもちろん、準備を進めてきた5年生・あおぞら学級のみんなも笑顔いっぱいです。

右の写真にもあるように6年生には、事前に招待状が届いています。

6年生へのお誘いの言葉や日時・場所・スタンプラリーが載っています。とてもワクワクしてきますね。



あおぞら学級の出店



お化け屋敷も登場



魚釣りも



手造りの作品



ペットボトルとゴムを利用した的当て



感想交流

出店は、子どもたちの創意工夫あふれるものばかり。これまでの経験を存分に活かしながら作られています。この紙面だけでは載せきれません。

約40分ほど活動を楽しみ、6年生の活動の様子を取ったスライドショーを流し、次は感想交流の時間です。5年生・6年生からもそれぞれに楽しかった感想が聞かれました。その後、6年生からのお礼のメダル渡し。

最後は、5年生が作る花のアーチをくぐって退場です。コロナ禍で様々な学校行事・地域行事が中止になりましたが、子どもたちのアイデア・創意工夫を生かした、素晴らしい自主的な活動ではないかなと感じました。

卒業まで残すところ「30」日あまり。この時期の6年生に、思い出に残る素敵なプレゼントが届けられたようです。

来年度の五福校の屋台骨を支える5年生。最上級生としての心構えが少しずつできつつあるのではないのでしょうか。活動の様子を見ながら、そのような頼もしささえ感じることができるひと時でした。



6年生からのお礼のメダルをかけてもらった5年生



花のアーチの中を6年生が退場